

# チェコ

## Czech Republic

	2011年	2012年	2013年
①人口：1,051万人（2013年）			
②面積：7万8,866km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP：1万3,394米ドル （2013年）			
④実質GDP成長率（%）	1.8	△1.0	△0.9
⑤消費者物価上昇率（%）	1.9	3.3	1.4
⑥失業率（%）	6.7	6.8	7.7
⑦貿易収支（100万ユーロ）	3,674	5,912	7,255
⑧経常収支（100万ユーロ）	△4,247	△2,041	△2,150
⑨外貨準備高（100万米ドル、 期末値）	39,670	44,265	55,798
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ、期末値）	72,770	77,664	80,764
⑪為替レート（1米ドルにつき、 チェコ・コルナ、期中平均）	17.6959	19.5775	19.5706

〔注〕⑦⑧：国際収支ベース、⑦：財のみ  
〔出所〕①②④⑤：チェコ統計局、⑥：労働社会福祉省、③⑨⑩：IMF、⑦⑧⑩：チェコ国立銀行

2013年のチェコ経済は輸出が伸び悩んだ上、設備投資の低迷など国内総固定資本形成が落ち込んだことにより0.9%のマイナス成長となった。貿易は輸出入ともに減少したが、貿易黒字は過去最大を更新した。対内直接投資は製造業を中心に減少した。対日貿易は輸出が約2割増、輸入が約1割減となったため、貿易赤字は縮小した。

### ■ 欧州債務危機の影響でマイナス成長続く

2013年のチェコ経済は、欧州債務危機の影響で、財貨・サービスの輸出が0.2%増と伸び悩んだ上、設備投資抑制で国内総固定資本形成が3.5%減となり、実質GDP成長率は2012年のマイナス1.0%に続いて0.9%のマイナス成長となった。政府最終消費支出が1.6%増、民間最終消費支出が0.1%増となるも、経済の落ち込みをカバーすることはできなかった。

2013年の消費者物価上昇率は、2013年10月の付加価値税（VAT）率の1ポイント引き下げに加え、ガソリン価格や通信料金の低下により1.4%と2009年（1.0%）以来の低い水準となった。政府は2013年8月に法定最低賃金の引き上げを発表したが、同年の賃金上昇率は0.1%と物価上昇への効果は薄かった。

2014年に入ると、国内総固定資本形成や輸出が順調に回復し、第1四半期の実質GDP成長率（前年同期比）は

表1 チェコの需要項目別実質GDP成長率

	2012年	2013年 （暫定）	2013年（暫定）				2014年 （予測） Q1
			Q1	Q2	Q3	Q4	
実質GDP成長率	△1.0	△0.9	△2.9	△1.7	△0.1	0.8	2.0
民間最終消費支出	△2.1	0.1	△1.7	△0.2	1.3	1.0	0.3
政府最終消費支出	△1.9	1.6	1.1	0.8	2.6	1.9	1.0
国内総固定資本形成	△4.5	△3.5	△6.8	△6.6	△3.2	1.7	3.4
財貨・サービスの輸出	4.5	0.2	△5.3	0.5	2.8	2.8	4.2
財貨・サービスの輸入	2.3	0.6	△4.5	△0.9	5.2	2.5	3.7

〔注〕四半期の伸び率は前年同期比（季節調整済み）。

〔出所〕チェコ財務省

2.0%とチェコ財務省は予測している。2014年の実質GDP成長率（通年）については、製造業が経済を牽引するものの、他の産業への波及ははまだ不透明で、景気回復は段階的に進むものとして、1.7%と予想している。

### ■ ユーロ圏向け輸出の減少続く

2013年の貿易は、2012年に過去最大を記録した輸出入額がともに減少に転じ、輸出は前年比0.3%減、輸入は1.6%減となった。輸入の減少幅が輸出を上回ったため、貿易黒字は過去最高を記録した（135億3,500万ユーロ）。

輸出を品目別にみると、構成比53.8%を占める機械類・輸送用機器が前年比0.9%減となった。これは事務機器（構成比7.3%）が22.6%減となったことが大きく、うちパソコンおよびその関連機器（5.7%）は、ドイツ・英国向け輸出が大幅減となり、13.6%減少した。他方、機械類・輸送用機器で最大の構成比を占める自動車（17.7%）は2.7%増と堅調であった。完成車（9.4%）の輸出は2.4%減となったものの、自動車部品（7.2%）が9.1%増となったことが全体を押し上げた。ドイツ、スロバキアなど主要自動車製造国での完成車生産が好調だったことから輸出が増加した。

輸出を国・地域別にみると、輸出の約6割を占めるユーロ圏向けが前年比1.3%減となった。これは最大輸出先であるドイツ（構成比31.3%）が0.8%減となったのをはじめ、

表2 チェコの主要品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2012年	2013年			2012年	2013年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	66,174	65,582	53.8	△0.9	45,491	44,147	40.7	△3.0
原料別製品	21,185	21,186	17.4	0.0	19,642	19,397	17.9	△1.2
雑製品	13,546	14,316	11.7	5.7	10,643	10,927	10.1	2.7
化学製品	7,539	7,765	6.4	3.0	12,214	12,371	11.4	1.3
食料品・生きた動物	4,299	4,439	3.6	3.3	5,442	5,560	5.1	2.2
鉱物性燃料	4,723	3,880	3.2	△17.9	12,238	11,579	10.7	△5.4
食用に適さない原材料	3,439	3,262	2.7	△5.2	3,154	3,004	2.8	△4.8
飲料・たばこ	790	854	0.7	8.0	737	756	0.7	2.5
動植物性油脂	365	334	0.3	△8.6	216	242	0.2	12.2
合計（その他含む）	122,244	121,889	100.0	△0.3	110,078	108,354	100.0	△1.6

〔注〕 EU域外貿易は通関ベース（輸出はFOB、輸入はCIF）、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

〔出所〕 チェコ統計局

表3 チェコの主要国・地域別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2012年	2013年			2012年	2013年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU27	98,939	98,399	80.7	△0.5	70,677	70,397	65.0	△0.4
ユーロ圏	77,498	76,510	62.8	△1.3	55,372	54,518	50.3	△1.5
ドイツ	38,437	38,123	31.3	△0.8	27,835	27,693	25.6	△0.5
スロバキア	11,041	10,847	8.9	△1.8	6,647	6,323	5.8	△4.9
フランス	6,172	6,021	4.9	△2.4	3,432	3,466	3.2	1.0
オーストリア	5,637	5,538	4.5	△1.7	3,521	3,316	3.1	△5.8
イタリア	4,389	4,396	3.6	0.2	4,250	4,291	4.0	1.0
オランダ	3,952	3,409	2.8	△13.7	3,821	3,538	3.3	△7.4
非ユーロ圏	21,441	21,890	18.0	2.1	15,305	15,879	14.7	3.8
ポーランド	7,446	7,266	6.0	△2.4	7,815	8,051	7.4	3.0
英国	5,853	5,881	4.8	0.5	2,076	2,037	1.9	△1.9
ハンガリー	2,810	3,159	2.6	12.4	2,580	2,589	2.4	0.3
ロシア	4,696	4,475	3.7	△4.7	6,165	5,975	5.5	△3.1
アジア・大洋州	4,335	4,652	3.8	7.3	21,417	20,200	18.6	△5.7
中国	1,302	1,446	1.2	11.1	12,195	11,626	10.7	△4.7
ASEAN	649	714	0.6	9.9	2,976	2,732	2.5	△8.2
日本	556	657	0.5	18.2	2,222	1,995	1.8	△10.2
韓国	433	436	0.4	0.8	2,414	2,255	2.1	△6.6
インド	510	423	0.3	△17.0	464	483	0.4	4.1
中東	3,061	3,258	2.7	6.4	1,128	1,104	1.0	△2.1
トルコ	1,323	1,664	1.4	25.8	858	862	0.8	0.5
北米 (NAFTA)	3,344	3,234	2.7	△3.3	2,833	2,839	2.6	0.2
米国	2,788	2,659	2.2	△4.6	2,361	2,340	2.2	△0.9
アフリカ	1,115	1,258	1.0	12.8	621	673	0.6	8.3
中南米	648	669	0.5	3.3	778	757	0.7	△2.7
ブラジル	319	321	0.3	0.7	277	211	0.2	△23.6
合計（その他含む）	122,244	121,889	100.0	△0.3	110,078	108,354	100.0	△1.6

〔注〕 ①EU域外貿易は通関ベース（輸出はFOB、輸入はCIF）、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

②アジア・大洋州はASEAN+6（日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド）に香港および台湾を加えた合計値。

③ユーロ圏と非ユーロ圏の合計値がEU27に一致しないのは四捨五入処理による。

〔出所〕 チェコ統計局

スロバキア（8.9%）、フランス（4.9%）向けが減少したことによる。ドイツ向けでは通信機器や事務機器、電力、天然ガスが、フランス向けでは自動車関連が、スロバキア向けでは石炭や電力の輸出が減ったことが大きかった。一方、欧州債務危機の影響が軽微だった非ユーロ圏（18.0%）は2.1%増、アジア・大洋州（3.8%）は7.3%増、

中東（2.7%）は6.4%増と好調だった。

輸入を品目別にみると、最大品目の機械類・輸送用機器（構成比40.7%）が前年比3.0%減となった。主要品目である自動車（8.2%）は1.3%増だったが、事務機器（6.6%）が14.5%減となったことが影響した。うちパソコンおよびその関連機器（3.9%）が16.7%減、事務機器・パソコンおよびその関連機器部品（1.8%）が12.2%減と、IT関係は2年連続で減少となった。また、鉱物性燃料（10.7%）が、原油（3.8%）の1割減により、5.4%減となった。鉱物性燃料は輸入量自体も減少したが、輸入価格が6.0%低下したことも金額の押し下げ要因となった。

輸入を地域別でみると、ユーロ圏（構成比50.3%）は前年比1.5%減で、スロバキア、オーストリア、オランダからの輸入減が目立った。スロバキアからの電力・鉄鋼、オランダからの半導体など電子部品の減少が大きかった。また、中国（10.7%）が4.7%減、ロシア（5.5%）も3.1%減となった。中国においては、パソコンおよび関連機器や事務機器部品など電子機器の減少が全体に影響した。一方、構成比14.7%を占める非ユーロ圏は3.8%増となった。特にポーランド（7.4%）が自動車部品の17.7%増、鉛の2.5倍が奏功し3.0%増となった。

## ■サービス分野が増加

2013年の対内直接投資総額（国際収支ベース、ネット、フロー）は37億6,000万ユーロと、2012年比で39.5%減となった。業種別にみると、エネルギー・水供給が17億8,600万

ユーロの引き揚げ超過となったほか、製造業への投資額は4億9,800万ユーロと2012年（20億3,600万ユーロ）から大幅減となった。一方、サービス業への投資は、50億8,500万ユーロとなった。情報・通信が4億8,600万ユーロの引き揚げ超過となった一方で、金融・保険への投資が、前年比微減とはいえ引き続き活発だったことや、その他

表4 チェコの業種別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>  
(単位:100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2012年	2013年(推定値)		2012年	2013年(推定値)	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
鉱業	11	67	526.0	△1	2	-
製造業	2,036	498	△75.5	77	△46	-
自動車	1,725	227	△86.8	69	74	6.3
機械・機器	227	211	△7.2	1	△14	-
石油・化学・ゴム・プラスチック	205	53	△74.3	36	△109	-
エネルギー・水供給	△227	△1,786	-	△313	256	-
建設	△123	△70	-	△64	1	-
サービス業	4,373	5,085	16.3	1,694	2,268	33.9
小売り・卸売り、自動車修理	916	n.a.	n.a.	36	253	596.8
情報・通信	△63	△486	-	18	99	450.8
金融・保険	2,053	2,042	△0.6	324	1,311	304.1
不動産	△279	686	-	552	126	△77.2
専門、科学、技術	△206	1,011	-	751	472	△37.2
その他サービス	△36	1,511	-	1	7	369.8
合計(その他含む)	6,217	3,760	△39.5	1,394	2,482	78.1

[出所] チェコ国立銀行

表5 チェコの国・地域別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位:100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2012年	2013年(推定値)		2012年	2013年(推定値)	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
EU27	6,174	2,763	△55.3	1,021	2,287	124.0
ユーロ圏	7,261	2,763	△61.9	1,152	2,129	84.8
オランダ	3,960	1,504	△62.0	771	1,041	35.0
オーストリア	417	1,142	174.1	1	2	58.8
キプロス	419	755	80.1	394	34	△91.4
ベルギー	955	349	△63.5	n.a.	△5	n.a.
フランス	△49	235	-	8	344	4,031.1
スロバキア	300	95	△68.2	△85	541	-
ドイツ	960	△459	-	9	65	665.3
非ユーロ圏	△1,087	△1	-	△131	157	-
スウェーデン	△12	62	-	n.a.	6	n.a.
ハンガリー	29	53	83.7	△6	△7	-
英国	△1,249	5	-	7	△64	-
ポーランド	118	△47	-	△45	84	-
アフリカ	△1	530	-	1	53	9,503.8
韓国	202	261	28.9	n.a.	n.a.	n.a.
米国	277	225	△18.9	19	△105	-
ロシア	△72	64	-	62	39	△37.2
中南米	△133	36	-	n.a.	n.a.	n.a.
ブラジル	△2	1	-	△3	△2	-
インド	△46	22	-	14	△3	-
中国	34	△48	-	32	5	△85.1
日本	△152	△178	-	n.a.	n.a.	n.a.
合計(その他含む)	6,217	3,760	△39.5	1,394	2,482	78.1

[出所] チェコ国立銀行

サービス、専門、科学、技術および不動産が2012年の引き揚げ超過からプラスに転じたことが大きい。

チェコ投資・ビジネス開発庁の報告によると、2013年に同庁が支援した投資108件のうち、分野別では34件が自動車関連、18件がエンジニアリング関連であり、目的別では86件が拡張案件、22件が新規案件であった。

国・地域別で見ると、ユーロ圏からの投資が前年比61.9%減と大幅に減少した。特に最大の投資国であるオ

ランダは投資額が大きく減少した。オーストリアは約2.7倍の11億4,200万ユーロとなり、ドイツを抜いて第2位の投資国となった。EU域外では、アフリカからの投資が急増し、過去最大となった。韓国は2億6,100万ユーロ(28.9%増)と引き続き好調だった。一方、これまでチェコへの投資が多かったドイツは4億5,900万ユーロの引き揚げ超過となった。

2013年以降に発表された主な案件は2013年11月に米国のモンデリーズ・インターナショナルが1億ドルを投資し、チェコ北東部のポーランド国境に近いオパバにビスケット製造工場を建設すると発表した。

2013年の対外直接投資総額は前年比78.1%増の24億8,200万ユーロとなった。

業種別で見ると、サービス業が22億6,800万ユーロと最大で、特に金融・保険が前年比約4倍の13億1,100万ユーロ、小売り・卸売り、自動車修理サービスが約7倍の2億5,300万ユーロと大きく伸びた。

国・地域別では、最大の投資先であるEU27向けが約2.2倍の22億8,700万ユーロとなった。うち、オランダ向けが前年比35.0%増の10億4,100万ユーロ、スロバキア向けが引き揚げ超過から5億4,100万ユーロに、フランス向けも約40倍の3億4,400万ユーロであった。

2013年以降に発表された主な案件としては、2013年10月、自動車部品製造のブラノグループのロシア子会社ブラノロスはロシアのニジニーノブゴロド近郊に工場を建設し110人を雇用すると発表した。その他、2013年8月、チェコ投資会社のペンタ・インベストメントが、ポーランドの薬局チェーン経営大手メディク・アプテカを買収、すでに同国内で展開している薬局チェーンDr.Maxと合わせ300以上を展開し、ポーランドでの同ビジネスを強化した。また、2013年11月には、チェコのエネルギー企業エネルギーティツキー・ア・プルーミスロビー・ホールディング(EPH)がフランス電力公社(EDF)からスロバキアのガス供給ストレドスロベンスカー・エネルギーティカ(SSE)の株式49%(4億ユーロ相当)を取得したと発表した。

### ■対日貿易赤字が大幅縮小

2013年の対日貿易は、輸出が前年比18.2%増の6億5,700万ユーロ、輸入が10.2%減の19億9,500万ユーロで、貿易赤字は13億3,800万ユーロとなり、赤字幅は2012年の16

表6 チェコの主要対内直接投資案件（2013年）

<M&A>

業種	被買収企業（事業）		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍	国籍			
インフラ	アクアリア・チェコ（上下水事業運営）	三井物産	日本		7月	約125億円	三井物産が同社連結子会社を通じ、上下水事業運営SmVaKの持ち株会社アクアリア・チェコの株式49%を取得。同時にSmVaKに対し水関連エンジニアリングサービスを提供しているAIIの株式49%を取得。

<M&A以外>

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
食品	モンデリーズ・インターナショナル（食品製造）	米国	11月	1億ドル	北東部オパバにビスケット製造工場を新設。
自動車部品	カヤバ工業	日本	12月	30億円	ショックアブソーバー生産拡大のため、中部パルドゥビツェ工場を拡張。

〔出所〕各社発表などから作成

億6,600万ユーロから大きく縮小した。

対日輸出は、最大品目の機械類・輸送用機器（構成比51.9%）が前年比49.1%増と大幅に伸びた。発電機（18.3%）が約2.5倍になったほか、電気機器（10.9%）が30.4%増、電信電話・音声録音機器（6.7%）が約2.8倍となったことによる。

対日輸入は、前年比10.2%減となった。全体の約7割を占める機械類・輸送用機器が7.2%減、原料別製品（構成比10.2%）が26.5%減となったことによる。特に、電信電話・音声録音機器（6.8%）とゴム製品（2.2%）がほぼ半減したこと、完成車（10.2%）が14.4%減となったことが大きかった。

## ■日系商社がチェコ水事業への参入

日本からチェコへの直接投資は、前年に引き続き2013年も引き揚げて超過となったが、2013年における日本企業の新規撤退事例はなかった。

ジェットロ・プラハ事務所の調査によると、チェコに進出

表8 チェコの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

（単位：100万ユーロ、%）

	輸出（FOB）				輸入（CIF）			
	2012年		2013年		2012年		2013年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	229	341	51.9	49.1	1,584	1,470	73.7	△7.2
雑製品	107	103	15.6	△3.8	255	220	11.0	△13.8
食用に適さない原材料	111	76	11.6	△31.1	23	23	1.2	1.2
化学製品	60	52	7.9	△14.1	81	76	3.8	△6.5
原料別製品	30	39	5.9	31.5	277	203	10.2	△26.5
食料品・生きた動物	15	29	4.4	88.6	1	1	0.1	23.8
合計（その他含む）	556	657	100	18.2	2,222	1,995	100	△10.2

〔出所〕チェコ統計局

表7 チェコの主要対外直接投資案件（2013年）

<M&A>

買収企業	被買収企業（事業）			時期	投資額	概要
	企業名	業種	国籍			
エネルギー・キー・ア・プルミスロビー・ホールディング（EPH）	エネルギー	ストレドロベンスカー・エネルギーゲティカ（SSE、ガス供給）	スロバキア / フランス	11月	4億ユーロ	フランス電力公社（EDF）からSSEの株式49%を取得。
ペンタ・インベストメント	製薬	メディク・アプテカ（薬局チェーン）	ポーランド	8月	未公表	チェコ投資会社ペンタ・インベストメントはポーランドの薬局経営大手メディク・アプテカを買収し、薬局経営ビジネスを強化。

<M&A以外>

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
銃器製造	チェスカ・ズプロヨフカ	ブラジル	4月	未公表	サンタカタリナ州での拳銃製造工場建設を発表。
自動車部品	プラノロス	ロシア	10月	未公表	ニジニョブゴロド近郊に自動車部品工場建設。

〔出所〕各社発表などから作成

している日系企業は228社（2014年5月時点）で、そのうち製造業は96社、被雇用者は推定約4万4,400人だった。

製造業関連の投資では、カヤバ工業が2013年12月、欧州および日系完成車メーカー向けショックアブソーバーの生産拡大のため、同国中部のパルドゥビツェ工場を拡張すると発表した（投資額30億円）。また同社は、2013年1月、2億コルナ（1,018万ドル）を新規投資し同じく中部のフルディムに知多鋼業との合弁企業KYB CHITAを設立した。2013年7月には、三井物産が同社連結子会社を通じて、チェコの上下水事業運営セペロモラフスキー・ボドボディ・ア・カナリザツェ（SmVaK）の持ち株会社であるアクアリア・チェコの株式49%を取得、同時にSmVaKに対し水関連エンジニアリングサービスを提供しているアクアリア・インフラエストラクチュラス・インジェニリーング（AII）の株式49%取得を発表した。取得額は合計約125億円であった。また、フコクが同年12月に西部リトムニェジツェに工業用ゴム製品の製造・販売拠点を設立した。